MITSUBISHI

三菱電機パッケージエアコン
スプリット形電算室用空調機（R410A対応）

室内ユニット
PFD-P560MT-E(-6)

取扱説明書

もくじ

このたびは三菱電機スプリット形電算室用空調機をお買いもとめいただきまして、まことにありがとうございます。

●ご使用の前に、正しく安全にお使いいただくため、必ずこの説明書をお読みください。
●お読みになったあとは、『据付説明書』とともに、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
●保証書は、『お買い上げ日・販売店名』などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。
●お使いになる方が代わる場合には、本書と『据付説明書』および『保証書』をお渡しください。
●お客さまご自身では、据付け・移設をしないでください。（安全や機能の確保ができません。）
●受注仕様としてお買いもとめいただきました製品につきましては、本書の表現が一部製品と異なる場合があります。

1．安全のために必ずお守りください

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、
⚠**警告**、⚠**注意** の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの。
⚠注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの傷害に結びつくもの。

■ “図記号”の意味は次のとおりです。

	絶対に行わないでください。
	必ず指示に従ってください。
	必ずアース工事を行ってください。
	回転物に注意してください。 (室外ユニット本体に表示してあります。)
	絶対に水を掛けないでください。
	絶対に濡れた手で触らないでください。

●ご使用時

⚠警告

長時間直接お肌に風をあてない
健康を損なう原因になります。
禁止

お客さま自身で分解･据付け･修理･移設･廃棄はしない
不備があると、火災･感電･ユニットの落下によるケガ･水漏れの原因になります。また、冷媒を大気に放出すると地球を汚染することになります。
お買い上げの販売店にご相談ください。
分解･据付け･修理･移設･廃棄禁止

エアコンおよびリモコンを水洗いしない
ユニットおよびリモコン内部に水が浸入して絶縁不良になり、感電の原因になります。
水濡れ禁止

濡れた手でスイッチを操作および電気回路の点検をしない
感電、故障の原因になります。
濡れ手禁止

薬品消毒のときにはエアコンを停止する
薬品が発散し危険です。
エアコン停止

薬品消毒のあとには、必ず換気をし、4～5時間送風運転を行う
エアコンに付着した薬品が吹き出すおそれがあり危険です。
換気・送風運転

異常時（異臭・異音・振動大など）は運転を停止して、電源スイッチを切る
異常のまま運転を続けると感電・火災や故障の原因になります。
お買い上げの販売店にご連絡ください。
電源を切る

吸込口・吹出口に指や棒などを入れない
特にお子さまにご注意を！
内部でファンが高速で回転しており、ケガの原因になります。
禁止

パネルやガードを外したまま運転をしない
機器の回転物・高温部・高圧部に触れると、巻き込まれたり、やけどや凍傷、感電等ケガの原因になります。
前パネルを外しますと、送風機・熱交換器・配線が露出します。
外して使用しないでください。
(点検時以外は絶対に外さないでください。)
分解禁止

●ご使用時

⚠注意

直接風のあたる所に燃焼器具を置かない
不完全燃焼の原因になります。
エアコンが燃焼器具の熱で変形することがあります。
設置禁止

特殊用途に使用しない
食品・動植物・美術品の保存などに使用しないでください。品質低下の原因になります。
使用禁止

直接風があたる所に動植物を置かない
動植物に悪影響を及ぼす原因になります。
設置禁止

殺虫剤・可燃性スプレーなどを吹付けない
火災・変形の原因になります。
使用禁止

室内・室外ユニットの下に濡れて困るものを置かない
冷房時、多湿（湿度80%以上）時の長時間運転およびホコリなどによるドレン詰まりにより水が滴下し、家財などを濡らし汚損の原因になります。
設置禁止

ユニットの上に乗ったり､物を載せたりしない
落下・転倒によるケガの原因になります。
禁止

据付台などがいたんだ状態で放置しない
ユニットが落下・転倒し、ケガなどの原因になります。
放置禁止

運転中に冷媒配管に触れない
素手で触れると凍傷や、やけどになるおそれがあります。
禁止

燃焼器具と一緒に使うときは、こまめに換気する
酸素不足の原因になります。
換気

フィルターなどの着脱のときは不安定な台に乗らない
落下・転倒によるケガの原因になります。
フィルターの清掃は専門の業者に依頼してください。
禁止

フィルターの着脱には、保護具（メガネなど）を着用する
目にゴミ・ホコリが入ることがあります。
フィルターの清掃は専門の業者に依頼してください。
保護具着用

清掃のときは運転を止め、電源スイッチを切る
運転中はファンが高速で回転しており、ケガの原因になります。
電源を切る

リモコンを先がとがった物で押さない
故障の原因になります。
禁止

●据付け時

⚠警告

お客様ご自身で据付け・移動・再据付けはしない
工事に不備があると、ユニットの落下によるケガ・感電・火災・水漏れの原因になります。
お買い上げの販売店にご依頼ください。
据付け

電源は専用回路とし、かつ定格の電圧、遮断器を使用する
異電圧や容量の大きい遮断器を使用したり、正しい容量のヒューズの代わりに針金や銅線を使用すると、火災・故障の原因になります。
専用回路

必ず漏電遮断器を取付ける
取付けていないと、感電、発煙、発火の原因になります。
漏電遮断器

小部屋に据付ける場合などは、換気対策を行う
万一冷媒が漏れても限界濃度を超えないよう換気対策が必要です。
冷媒が漏れると、酸欠事故の原因になります。
お買い上げの販売店にご相談ください。
設置場所

室内・室外ユニットは、堅固な場所に水平に、かつしっかりと固定されていること
ユニットの落下・転倒などによりケガの原因になります。
設置場所

使用される別売部品は当社指定品であること
別売部品は、必ず当社指定のものであること。
お客さまご自身で取付け不備があると、感電・発煙・発火・水漏れなどの原因になります。
お買い上げの販売店にご依頼ください。
別売部品

コントローラー付近の温度が40℃以上、0℃以下になる場所、または直射日光があたる場所、湯・油・蒸気が飛散しコントローラーに掛かるところには取付けない。
据付禁止

（このページの詳しい説明は、室内ユニットの据付工事説明書をご覧ください。）

⚠注意

可燃性ガスの漏れるおそれのある場所へは据付けない
ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因になります。
設置禁止

アースを行う
アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。
アースが不完全な場合は、感電、発煙、発火およびノイズによる誤動作の原因になります。
アース工事

ドレン配管は確実に行う
配管工事に不備があると水漏れし、家財などを濡らす原因になります。
排水

ドレントラップの封水は確実に行う
トラップを改造したり、封水がされていないと、トラップの機能が損なわれ、水漏れの原因になります。また、定期点検（6カ月）でホース内に注水して、封水されていることを確認してください。
排水

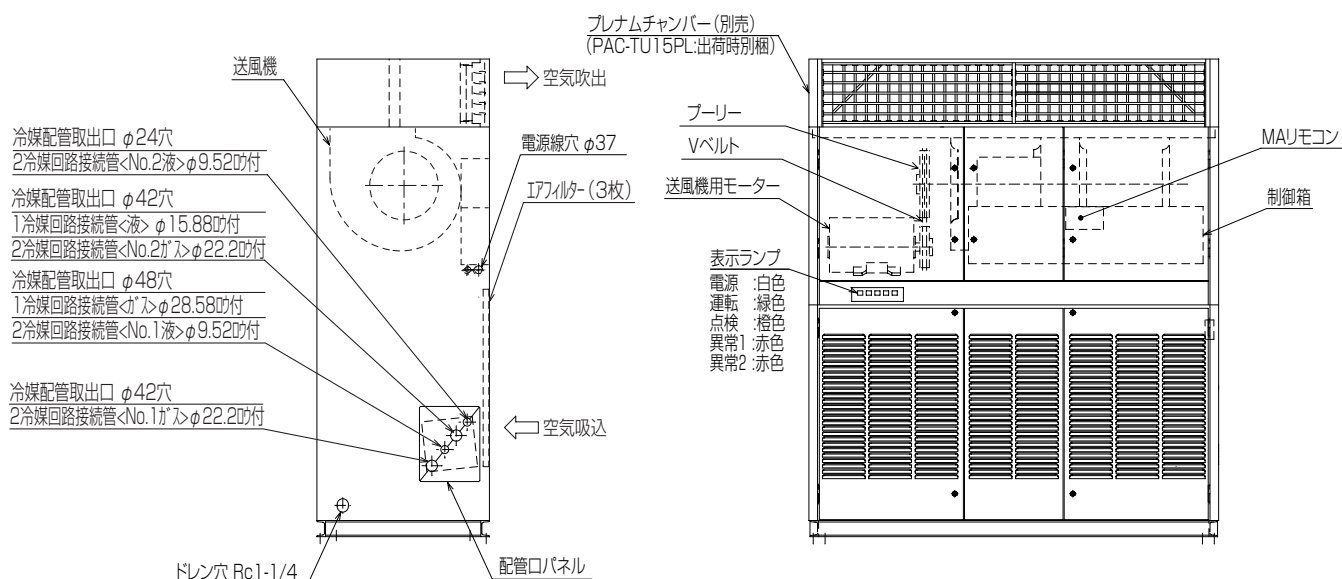
●冷媒（フロンガス）についてのご注意
このエアコンには、不燃性･非毒性･無臭の冷媒を使用していますが、これが漏れて火気に触れると有毒ガスが発生することがあります。また、空気より比重が重いため、部屋の中では床面に溜まりやすく酸欠事故の原因になります。
（冷媒が漏れたときの処置）
万一冷媒が漏れたときには、ストーブなどの火を消し、戸を開けるなどして十分換気を行ってください。
その後、お買い上げの販売店にご連絡ください。

●次の場所への据付けは避けてください。
本体が腐食しガス漏れしたり、性能を著しく低下させたり、部品が破損することがあります。
●可燃性ガスの漏れるおそれがあるところ
●粉や蒸気が多量に発生するところ
●酢（酢酸）を多量に使用するところ
●油煙がたちこめるところ
●温泉地などの硫化（イオウ系）ガスの発生するところ
●海浜地区など塩分の多いところ
●積雪により室外ユニットが塞がれるところ

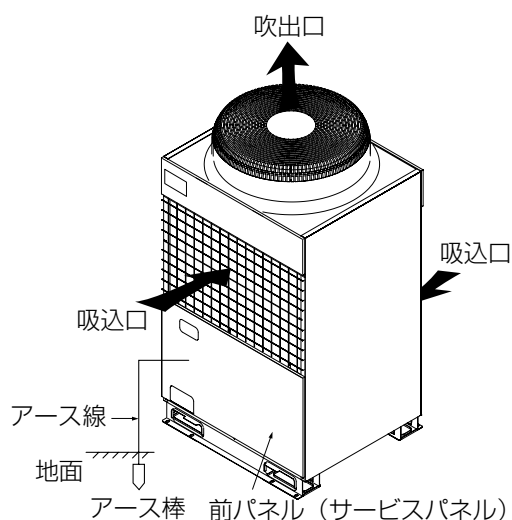
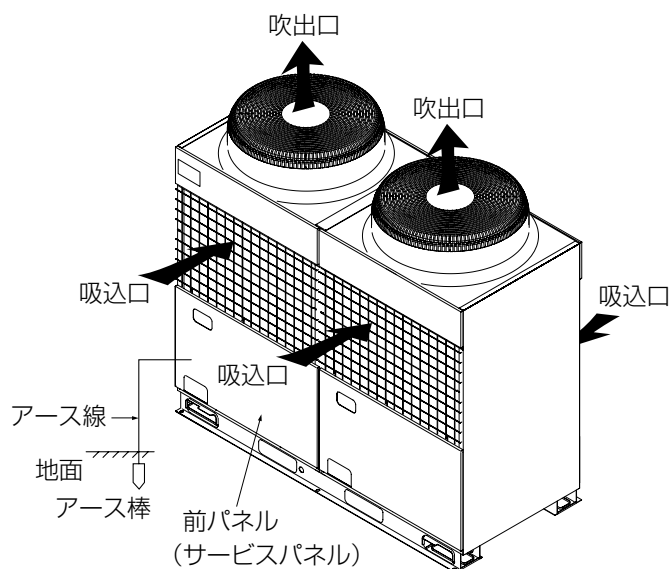
2. 各部のなまえ

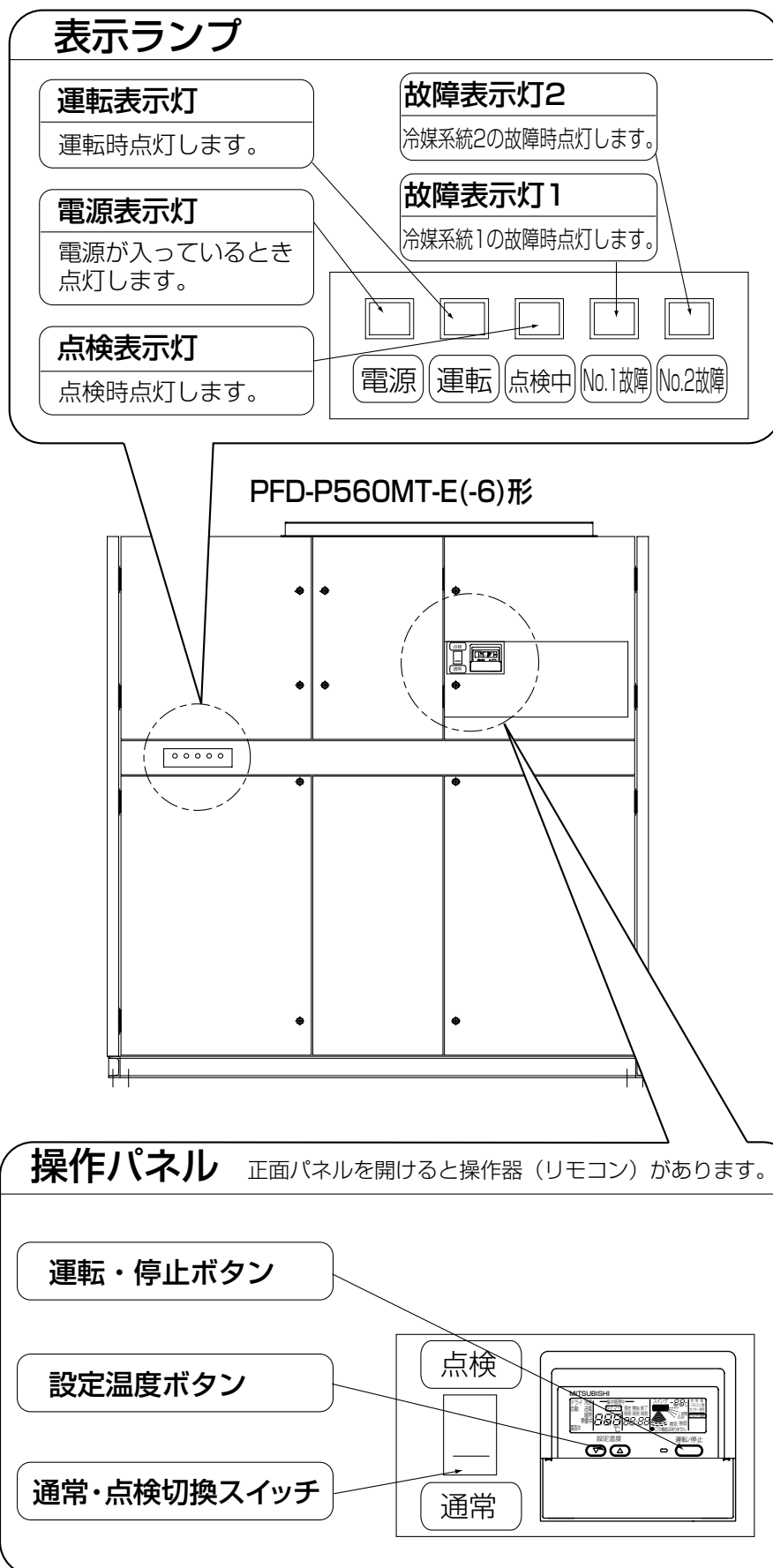
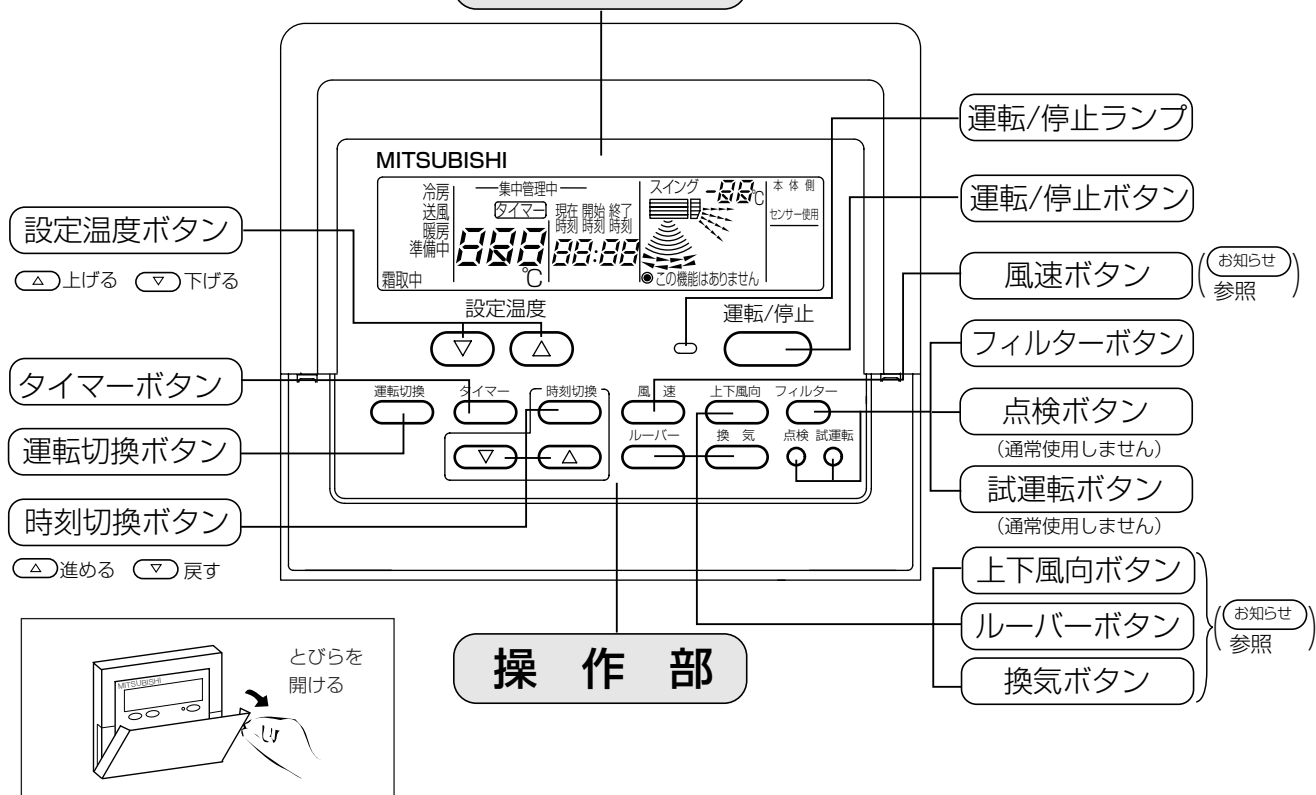
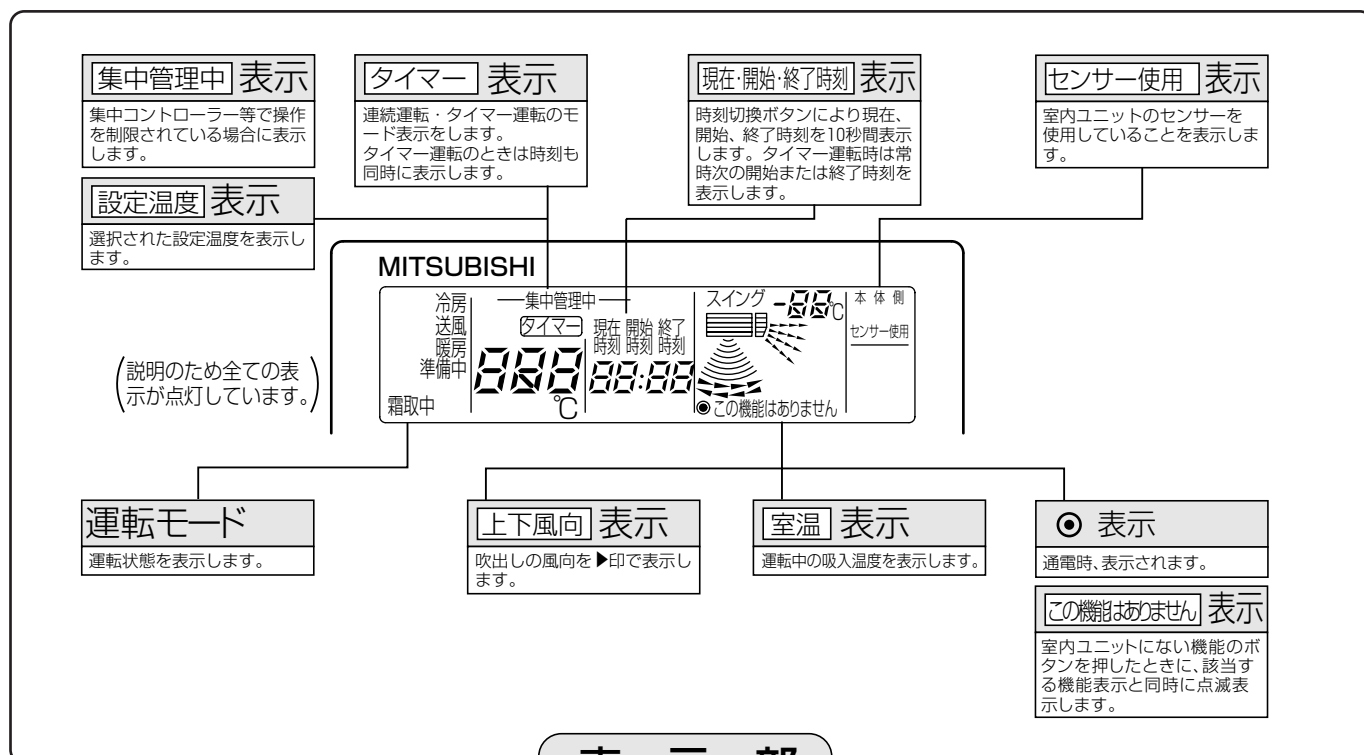
室内ユニット

PFD-P560MT-E(-6)形

送風機
空気吹出
冷媒配管取出口 φ24穴
2冷媒回路接続管<No.2液>φ9.52ﾛｳ付
冷媒配管取出口 φ42穴
1冷媒回路接続管<液> φ15.88ﾛｳ付
2冷媒回路接続管<No.2ｶﾞｽ>φ22.2ﾛｳ付
冷媒配管取出口 φ48穴
1冷媒回路接続管<ｶﾞｽ>φ28.58ﾛｳ付
2冷媒回路接続管<No.1液>φ9.52ﾛｳ付
冷媒配管取出口 φ42穴
2冷媒回路接続管<No.1ｶﾞｽ>φ22.2ﾛｳ付
電源線穴 φ37
ｴｱﾌｨﾙﾀｰ（3枚）
空気吸込
ドレン穴 Rc1-1/4
配管口パネル
プレナムチャンバー（別売）
（PAC-TU15PL:出荷時別梱）
プーリー
Vベルト
送風機用モーター
表示ランプ
電源 :白色
運転 :緑色
点検 :橙色
異常1 :赤色
異常2 :赤色
MAリモコン
制御箱

室外ユニット

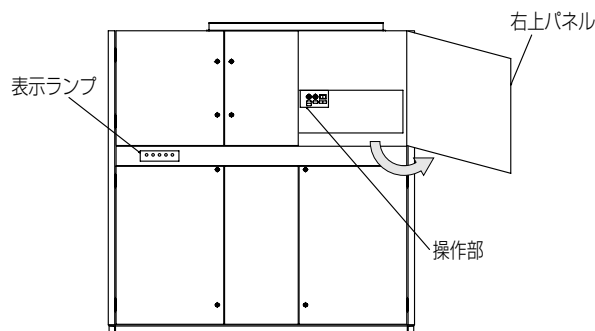
■システムにより、形状が異なります。

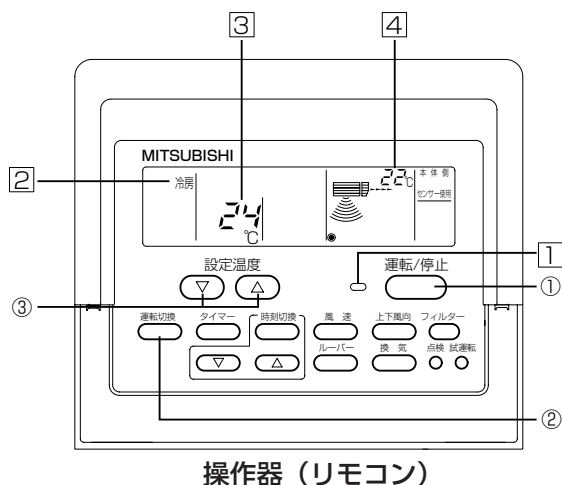
PUD-P280M-E(-BS,-BSG)形

PUD-P560M-E(-BS,-BSG)形

3．運転のしかた

(1) 操作部の名称とはたらき

＜操作器（リモコン）の表示・操作部名称とはたらき＞

お知らせ

●操作ボタンを押してもその機能が室内ユニットに装備されていないため、“この機能はありません”と点滅表示が出ます。

(2) 点検のしかた

1 右上の正面パネルを開けます。

2 運転／停止と運転モード、室温調節のしかた

操作器（リモコン）

運転を開始するとき

■ ⬭（運転／停止）ボタン①を押す。
●運転ランプ 1 と表示部が点灯します。

お知らせ ●再運転は、下記運転内容となります。

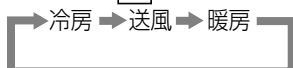
	リモコン設定内容
運転モード	前回運転モード
温度設定	前回設定温度

運転を停止するとき

■ ⬭（運転／停止）ボタン①を押す。
●運転ランプ 1 と表示部が消えます。

運転モードを選ぶとき

■運転中に（運転切換）ボタン②を押す。
●1回押すごとに設定が切換わります。
運転モードが 2 に表示されます。

→冷房→送風→暖房→

設定温度を変えたいとき

■室温を下げたいとき･･･ ▽ 室温調節ボタン③を押す。
■室温を上げたいとき･･･ △ 室温調節ボタン③を押す。
●1回押すごとに設定温度を1℃変えられます。
設定温度が 3 に表示されます。
●設定できる指定温度は次のとおりです。

冷房	暖房	送風
14～30℃※	17～28℃	設定できません

※吸込温度制御の場合 19～30℃

室温表示

運転中の吸込温度もしくは、吹出温度が 4 に表示されます。

お知らせ

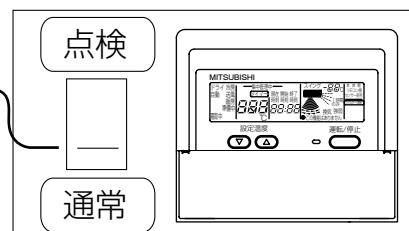
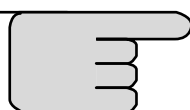
●表示範囲は8～39℃で、これを超える場合は8℃、または39℃で点滅します。
●複数台の室内ユニットを操作する場合は、リモコンへの表示は、代表室内ユニット（グループ内の一番若いアドレス）の内容が表示されます。

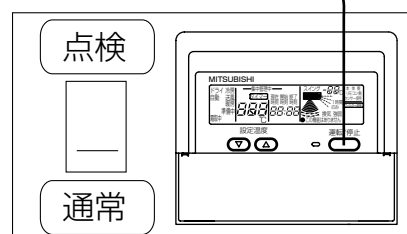
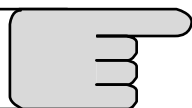
3 通常・点検切換のしかた

点検運転するとき

通常・点検切換スイッチを点検側に倒す

点検

通常

4 異常リセットのしかた

表示ランプの故障表示灯が点灯して、その異常をリセットしたいとき

運転が始まります。

※販売店または専門業者による修理が終了して、安全を確認してからリモコンの運転／停止スイッチを押してください。
お客さま自身で修理しないでください。

ご注意

●運転を停止するとき、通常モードでは停止できません。点検モードに切換えてから、運転・停止スイッチを押してください。ただし、室内ユニット制御基板のスイッチ1-10がONの場合（遠方発停入力を使用しない場合）には、通常モードでも操作機（リモコン）での発停操作は可能です。

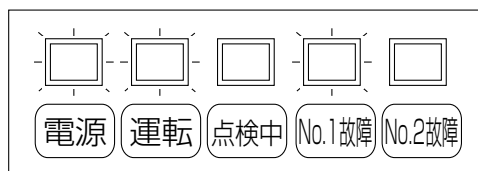
●点検モード中は遠方発停入力や集中操作機（別売）からの運転・停止操作はできません。

●集中操作機（別売）からの運転・停止および温度設定等の操作は、集中操作機の取扱説明書をご覧ください。

●リモコン操作から運転・停止へ切換る場合、数秒かかることがありますが、異常ではありません。

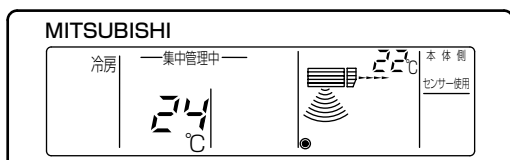
●停電復帰後、空調機が自動的に運転を再開した後、最大1分間MAリモコン表示部に「HO」表示します。この間、MAリモコンを操作することはできません。緊急停止させたい場合は、漏電遮断器にて電源をOFFしてください。

(3) その他の表示・点滅について

故障表示灯1.2の点灯

（例）左図は冷媒系統1の故障時を示しています。

●「運転表示灯」と「故障表示灯」の両方が点灯している場合は、空調機に障害が発生し、運転を継続できずに停止しているか、応急運転をしています。
操作器に表示されています、ユニットナンバー、エラーコードをメモして、サービスをお申しつけください。
●故障表示灯が消えている冷媒系統は正常に動作しています。（1冷媒回路接続時は、No.2故障は点灯しません。）

操作器（リモコン）の表示

集中管理中表示

●外部発停入力、集中操作機（別売）等で、操作を制限しているときに表示します。
制限される操作は以下のとおりです。
・運転／停止
・運転モード
・設定温度

お知らせ

●個々に制限される場合もあります。

エラーコードの点滅

●「運転ランプ」と「エラーコード」の両方が点滅している場合は、空調機に障害が発生し、運転を継続できずに停止しています。
ユニットナンバー、エラーコードをメモして空調機の電源を切り、サービスをお申しつけください。

●「エラーコード」のみが点滅している場合
（運転ランプは点灯したまま）
空調機は運転を継続していますが、障害が発生している可能性があります。
エラーコードをメモして、サービスをお申しつけください。

集中操作機の表示について

●本ユニットには、別売の集中操作機の接続も可能です。
●集中操作機では、空調機の運転状態等が確認できます。詳細は、集中操作機の取扱説明書をご覧ください。

上手な使い方

上手な使い方ー上手に正しくお使いいただき、快適な室内環境をお作りください。

冷房時は熱の侵入を少なく

●冷房時直射日光の当たる窓にはブラインド、カーテンをひくなどして熱の侵入を少なくしましょう。
●出入口は必要なとき以外は開けないようにしましょう。

長時間直接お肌に風をあてない

●長時間エアコンの風が直接身体にあたると体調を悪くしたり、健康障害の原因になります。

フィルターの清掃を

●フィルターの目詰まりは風の流れを悪くし、性能が落ち、電力のムダ使いとなります。
●フィルターは通常の環境では約2500時間ごとに清掃してください。

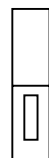
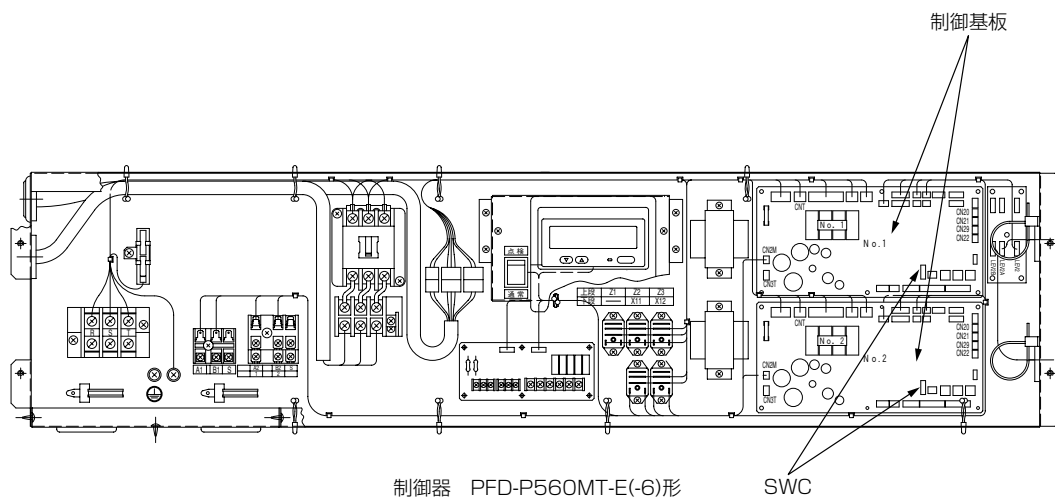
吸込み温度制御での温度設定にご注意

●吸込み温度制御で温度設定を低くすると、吹出し温度が低くなり階下等の建物が結露する原因になります。

もっと知りたいとき

室内ユニット吸込み温度／吹出し温度制御について

本機種は、上記のいずれかの温度制御が選択可能です。
図に示す室内ユニットの制御器内の制御基板上のスイッチSWCにて切換えが可能です。
製品出荷時は、吹出し温度制御設定（SWCが「標準」設定）になっています。
制御変更する場合は、制御器内の2枚の制御基板上のSWCを
　吸込み温度制御にする場合：「オプション」設定
　吹出し温度制御にする場合：「標準」設定
にしてください。
2枚の制御基板上のSWC設定は、必ず同一設定にしてください。

制御器　PFD-P560MT-E(-6)形

オプション：吸込み温度制御

標準：吹出し温度制御

SWC

使用温度範囲

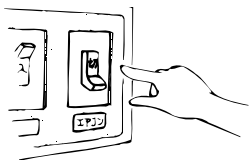
●使用温度の範囲から外れたところで使用しますと、重大な事故の原因となります。

		室内	室外
冷　房	乾球温度	19℃～35℃	-15℃～43℃
	湿球温度	12℃～24℃	―
暖　房	乾球温度	0℃～28℃	―
	湿球温度	―	-15℃～24℃

※室内外共に使用可能な湿度の目安は、相対湿度30～80%です。
※暖房機能は、低外気時の室内ウォーミングアップとしてお使いいただけます。ただし、冷却対象機器に影響がない範囲でご使用ください。
　また、吹出空気温度制御はご使用いただけません。

4．お手入れのしかた

お手入れの前に

■運転停止後、必ず、電源を「切」にしてください。

お手入れの内容

パッケージエアコンを末永くより良い状態でお使い戴くために「7.保証とアフターサービス」に従い点検を必ず実施してください。
安全のためにお手入れの前には必ず電源を「切」にしてから行ってください。

フィルターの清掃

⚠注意

必ず電源を切り、運転停止状態で清掃を行ってください。内部のファンが回転したまま作業をするとケガの原因になります。

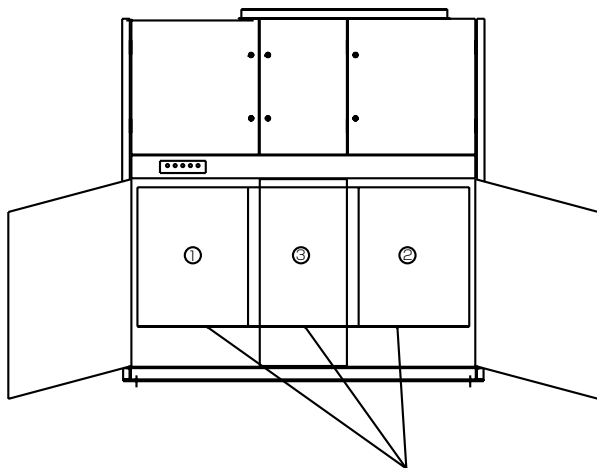
⚠注意

フィルターを取外すときは目にホコリが入らないように注意してください。また踏台に乗って行うときは、転倒しないように注意してください。

⚠注意

フィルターを取外した状態で運転をしないでください。内部にゴミなどが詰まり、故障の原因となります。

(1)フィルターを取外す。

●PFD-P560MT-E(-6)形

フィルターの外し方

①左側パネルを開け フィルターを上げ、手前に引いて外してください。
②右側パネルを開け フィルターを上げ、手前に引いて外してください。
③センターはフィルターを右に寄せてから、②フィルターと同様に外してください。

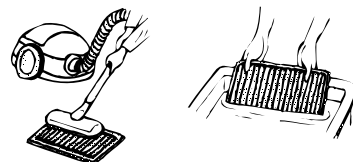
(2)フィルターのホコリを掃除機で吸取るか、水洗いする。

■汚れがひどいときは、中性洗剤を溶かした、ぬるま湯ですすいでください。

■熱い湯（約50℃以上）で洗わないでください。変形することがあります。

(3)水洗いしたあと、日陰でよく乾かす。

■フィルターは直接日光や直接火にあてて乾かさないでください。

(4)フィルターを元の状態に取付ける。（取外しの逆の手順）

ドレン排水の点検

ドレン排水はスムーズに流れているか調べてください。排水不良の場合は紙粉などでドレンパンの溝部分および配水管のトラップ部が詰まっていないか調べてください。
なお、ドレンパン溝部分および配水管のトラップ部は詰まらないようにこまめに清掃してください。
トラップは、必ず封水された状態を保持してください。

Vベルトの点検

1.ファンプーリーと電動機プーリーの平行度は図1.表1の規格を満足するようにセットしてください。
2.Vベルトの1本当たりの張力は適正たわみ量(ℓ =5mm)の時のたわみ荷重(W)が図2の値になるようにセットしてください。
3.ベルトがプーリーになじんだあと、(運転後24～28時間以後)図2の適正張りに調整することをお奨めします。また、新しいベルトの場合は、たわみ荷重(W)の最大値の約1.3倍程度に調整するようにしてください。
4.Vベルトは8000時間ごとに交換することをお奨めします。[Vベルトは初期のび(約1%)を含め、ベルト周長が約2%のびた時点で寿命です。]

表1

平行度 / プーリー	K(分)	備　考
鋳鉄製プーリー	10以下	1m当たり3mmのずれに相当

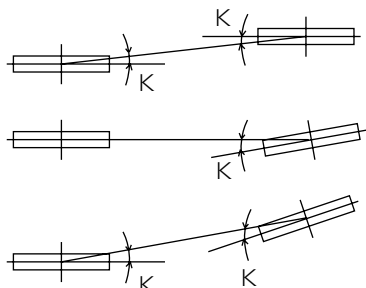



図1

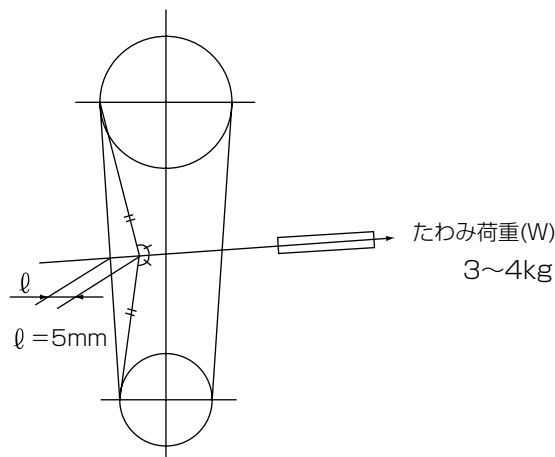



図2

室外ユニット熱交換器の洗浄

長期間エアコンを使用しますと、空冷式の熱交換器の場合にはほこりなどが付着し、熱交換が悪くなって冷房能力が低下します。
洗浄方法についてはお買い上げの販売店にご相談ください。

送風機軸受のグリース補給

軸受を長期間安心してご使用いただくために、1年に1回程度新しいグリースを補給してください。グリース寿命を延ばすとともに軸受寿命を長くすることができます。グリースは次のものをご使用ください。

シェル石油	アルバニヤグリースNo.3 石けん基　リチウム系
グリース補給量	10.5g

パネルの清掃

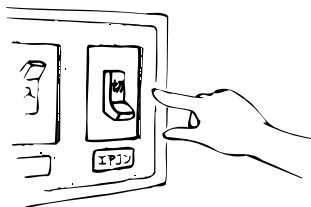
中性洗剤を柔らかな布にふくませて拭き、最後に乾いた布で洗剤が残らないよう拭き取ります。

ベンジン・シンナーの使用は避けてください。

5．長期間ご使用にならないとき

長期間ご使用にならないとき

(1)4～5時間、送風運転して室内ユニット内部を乾燥させる。

(2)室内ユニットの電源を切る。

再度使い始めるとき

■下記作業(1)～(4)の点検を行い、異常のないことを確認後、電源を入れてください。

(1)フィルターを清掃して、取付ける。

(2)室内・室外ユニットの吹出口・吸込口がふさがれていないことを確認する。

(3)アース線が外れていないことを確認する。室内ユニットにも取付けてある場合があります。

⚠注意

アース線はガス管・水道管・避雷針・電話アース線に接続しない。アース工事に不備があると、感電、発煙、発火およびノイズに誤動作の原因になります。アース工事を行う場合は販売店にご相談ください。

(4)ドレンホースの折れ曲がり、先端の持ち上がり、詰まり、トラップの破損などのないことを確認し、トラップに注水して、封水されていることを確認する。

(5)運転開始の12時間以上前から必ずエアコンの電源を「入」にする。

6．こんなときには･･･ Q&A

●動かない！

症状	説明
室内ユニットの運転表示（緑）が点灯しない。	■電源が入っていないことが考えられます。電源をご確認ください。 ユニットの電源が入っていないと、ユニットの通電表示（白）が点灯しません。

●勝手に動き出した！

症状	説明
運転・停止ボタンを押さないのに動き出した。	■集中操作器や遠方発停入力等で、操作した場合に運転を開始します。 ■停電自動復帰機能に設定されているため、運転中に停電または電源を切ったあと、電源を入れると、自動的に運転を開始します。

●勝手に停止した！

症状	説明
運転・停止ボタンを押さないのに停止した。	■集中操作器や遠方発停入力等で、操作した場合に運転を停止します。

●よく冷えない！

症状	説明
よく冷えない。	■温度調節を確認して、設定温度を調節してください。 ■フィルターが汚れ、目詰まりして風量が低下している場合は、フィルターの清掃をしてください。 ■室内ユニットの吹出口・吸込口が塞がれている場合は、室内ユニット周囲空間を広く開けてください。
再運転のために停止後すぐに運転・停止ボタンを押したがすぐ運転しない。	■空調機を保護するため、マイコンの指示で止まっています。 再運転をした場合は、運転するまで約1分間お待ちください。

●音がする！

症状	説明
水の流れるような音や時々“プシュ”と音がする。	■ユニット内部の冷媒が流れている音や、冷媒の流れが切換わるときの音です。異常ではありません。 ※もし気になるような音の場合は、お買い上げ販売店にご相談ください
“ピシッ、ピシッ”という音がする。	■温度変化で部品などが膨張・収縮して、こすれる音です。 異常ではありません。 ※もし気になるような音の場合は、お買い上げ販売店にご相談ください。

●水蒸気・水（室内ユニット）が出る！

症状	説明
室内ユニットより白い霧状の水蒸気がでる。	■室内の温湿度が高い場合、運転の始めにこのような現象が起こる場合があります。異常ではありません。
室外ユニットより水・水蒸気がでる。	■冷房時に冷えた配管や配管接続部に水滴がつき滴下するためです。

●風が出てこない！

症状	説明
すぐに風がでない。	■電源が入っていないことが考えられます。電源をご確認ください。 ユニットの電源が入っていないと、ユニットの通電表示（白）が点灯しません。 ■運転中にもかかわらず、風が出てこない場合は、送風用モーターの異常などが考えられます。お買い上げ販売店にご相談ください。

●操作器および表示灯表示について

症状	説明
室内ユニット内操作器表示部、集中操作器等にエラーコードが表示される。 室内ユニットの異常表示灯（赤）が点灯している。	■自己診断機能が作動してエアコンを保護しています。 ※自分では絶対に修理しないでください。お買い上げの販売店に製品名・エラーコードの表示内容を連絡してください。

●リモコンの表示について

症状	説明
リモコンの運転表示が点灯しない。	■電源が入っていないことが考えられます。電源をご確認ください。 ユニットの電源が入っていないと、リモコンに通電表示（◉）が点灯しません。
リモコン表示部に“集中管理中”の表示がで出ている。	■集中コントローラー等で、操作を制限されている場合に表示します。

7．保証とアフターサービス

■保証書は室外ユニットに添付しております。

■ご不明な点や修理に関するご相談はお客様相談窓口（別添）にお問い合わせください。

■本製品を良好な状態で長く、安心してお使いいただくために、日常点検（フィルター清掃など）以外に、専門技術者による定期的な保守点検を実施してください。

標準的な保守・点検の「点検周期」、および定期点検に伴う「保全周期」を以下に示します。

1 保守・点検周期

1.予防保全の目安

以下の保全周期は、定期点検の結果に基づき必要になるであろう部品交換、修理実施の予測周期を示すものであり、保全周期で必ず交換が必要ということではありません。（ただし、消耗部品であるファンベルトを除きます）

また、保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。

表1．保守・点検周期

ユニット	部品	点検周期	保全周期	日常点検	保守点検	備考
室内	ファンモーター	6カ月	40000時間		○	
	ベアリング		40000時間		○	1回/年の頻度で潤滑油を給油
	ファンベルト		8000時間		○	消耗部品
	エアフィルター	3カ月	5年	○		点検周期は、現地状況にて影響されます
	ドレンパン（エマージェンシードレンパンを含む）	6カ月	8年		○	
	ドレンホース		8年		○	
	リニア膨張弁	1年	25000時間		○	
	熱交換器		5年		○	
	フロートスイッチ	6カ月	25000時間		○	
	表示LEDランプ	1年	25000時間		○	
	ペーパーパン加湿器	2カ月	25000時間			ペーパーパン加湿器（受注/別売）組込み時
室外	圧縮機	6カ月	40000時間		○	
	ファンモーター		40000時間		○	
	リニア膨張弁	1年	25000時間		○	
	四方弁		25000時間		○	
	熱交換器		5年		○	
	圧力スイッチ		25000時間		○	
	インバーター冷却ファン		40000時間		○	
	アクティブフィルター冷却ファン ※		40000時間		○	

※印：アクティブフィルター（別売）組込み時のみ

2.注意事項

●上表の保守・点検周期は、以下のご使用条件の場合です。

A．頻繁な発停のない、通常のご使用条件であること。（機種によって異なりますが、通常のご使用における発停回数は、6回／時間以下を目安としています。）

B．製品の運転時間は、24時間／日と仮定しています。

●また、下記の項目に適合する場合には、「保守周期」の短縮を考慮する必要があります。

①温度・湿度の高い場所、あるいはその変化の激しい場所でご使用される場合。

②電源変動（電圧、周波数、波形歪み等）が大きい場所でご使用される場合。（許容範囲外での使用はできません）

③振動、衝撃が多い場所に設置されご使用される場合。

④塵埃、塩分、亜硫酸ガスおよび硫化水素などの有害ガス・オイルミスト等良くない雰囲気でご使用される場合。

●点検周期に基づいた定期点検実施の場合でも予期できない突発的偶発事故が発生することがあります。この場合、保証期間外での故障修理は有償扱いとなります。

●補修用部品の保有期間について

この製品の補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後9年間となっています。この期間は経済産業省（旧通商産業省）の指導によるものですが、当社はこの基準により補修部品を調達した上、修理によって性能を維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理を実施致します。

2 定期点検内容

表2．保守・点検内容

ユニット	部　　品	点検周期	点検項目	判定基準	保全内容
室内	ファンモーター	6カ月	・運転音の聴覚チェック ・絶縁抵抗の測定	・異常音なし ・絶縁抵抗が1MΩ以上のこと	絶縁劣化の場合、交換
	ベアリング		・運転音の聴覚チェック	異常音なし	給油しても異常音ある場合、交換 1回/年の頻度で潤滑油を給油
	ファンベルト		・張り度合いチェック ・摩耗､傷の有無外観チェック ・運転音の聴覚チェック	・たわみ荷重3～4kg/本、 たわみ量5mm程度が適正 ・ベルト周長の伸びが初期に比べ2%以下 ・摩耗、傷なし ・異常音なし	張り調整 ベルト周長伸びが2%以上､もしくは8000時間以上の運転で交換 摩耗、傷ある場合、交換
	エアフィルター	3カ月	・汚れ、破損の外観チェック ・清掃	・汚れ、破損なし	清掃 汚れひどく、破損の場合、交換
	ドレンパン	6カ月	・汚れ、排水口詰まりチェック ・取付け部ネジ緩みチェック ・劣化有無チェック ・トラップ封水のチェック	・汚れ、詰りなし ・ネジ緩みなし ・著しい劣化なし ・トラップが封水されていること	汚れ、詰まりの場合清掃 ネジ増し締め 劣化著しい場合、交換 排水確認を実施
	リニア膨張弁	1年	・運転データによる動作チェック	制御開度変化に対する温度変化が妥当なこと（集中操作器にて温度変化確認）	動作不良で、要因が本体の場合、交換
	熱交換器		・詰まり、汚れ、損傷チェック	詰まり、汚れ、損傷なし	清掃
	フロートスイッチ	6カ月	・外観チェック ・異物付着チェック	・劣化、断線なきこと ・異物なきこと	断線、および著しい劣化の場合、交換 異物付着の場合、清掃
	表示ランプ(LED)	1年	・点灯チェック	・出力ONで点灯 ・著しい輝度低下	出力ONでも消灯および著しい輝度低下の場合、LEDランプ交換
	ペーパーパン加湿器	2カ月	・槽内のスケール付着 ・ドレン抜きからの水漏れ	・スケールの付着なきこと ・水漏れなきこと	異物付着の場合、清掃 電磁弁動作不良で、要因が本体の場合、交換
室外	圧縮機	6カ月	・運転音の聴覚チェック ・絶縁抵抗の測定 ・端子緩み外観確認	・異常音なし ・絶縁抵抗が1MΩ以上のこと ・端子緩みなし	冷媒が寝込んでない状態で絶縁劣化の場合、交換 端子緩みの場合、増し締め
	ファンモーター（空冷室外ユニットのみ）		・運転音の聴覚チェック ・絶縁抵抗の測定	・異常音なし ・絶縁抵抗が1MΩ以上のこと	絶縁劣化の場合、交換
	リニア膨張弁	1年	・運転データによる動作チェック	制御開度変化に対する温度変化が妥当なこと（集中操作器にて温度変化確認）	動作不良で、要因が本体の場合、交換
	四方弁		・運転データによる動作チェック	弁切換え時で、温度変化が妥当なこと（冷房／暖房運転切換え時の温度変化確認）	動作不良で、要因が本体の場合、交換
	熱交換器		・詰まり、汚れ、損傷チェック	詰まり、汚れ、損傷	清掃
	圧力スイッチ		・断線、劣化、コネクター抜けチェック ・絶縁抵抗の測定	・断線、劣化、コネクター抜けなし ・絶縁抵抗が1MΩ以上のこと	断線、ショート、著しい劣化、絶縁劣化の場合、交換
	インバーター冷却ファン		・運転音の聴覚チェック ・絶縁抵抗の測定 ・異常履歴の確認	・異常音なきこと ・絶縁抵抗が1MΩ以上のこと ・異常履歴にヒートシンク加熱保護(4230,4330)がないこと	異常音あり、絶縁劣化、異常履歴ある場合は、交換
	アクティブフィルター冷却ファン（空冷室外ユニットのみ）		・運転音の聴覚チェック ・絶縁抵抗の測定	・異常音なきこと ・絶縁抵抗が1MΩ以上のこと	異常音あり、絶縁劣化の場合、交換

■アフターサービスご契約のおすすめ

●当社指定のサービス会社と保守契約（有料）いただければ、専門のサービスマンがお客様に代わって保守点検を致します。万一の故障時も早期に発見し適切な処置を行うことができます。

■保証書について[保証期間は、お買い上げ日または据付日または試運転完了日から起算して1年間です。]

●保証書はお買い上げの店で所定事項を記入しお渡ししますので、記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

●保証期間中、万一故障した時は、お買い上げの店または指定のサービス店にご連絡ください。
保証書の記載事項に基づいて1年間は無償修理致します。**[保証期間経過後の修理は有償になります。]**
保証期間中でも有償になる場合もありますので、保証書をよくお読みください。

■移設および廃棄について

●転居などでエアコンを移動再設置する場合は専門の技術が必要ですので、お買い上げの店またはメーカー指定のお客様相談窓口にご相談ください。

●エアコンを廃棄されるときは、冷媒の回収などが必要ですので、お買い上げの店またはメーカー指定のお客様相談窓口にご相談ください。

8. 移設・工事・点検について

■移設について

①増改築・引越しのためエアコンを取外したり再据付けをする場合は、移設のための専門の技術や工事の費用が必要になりますので、あらかじめ販売店にご相談ください。
②据付けや移設時に冷媒を追加充てんする場合は、指定冷媒以外のものを混入させないでください。

■設置場所について

①設置・移設する場合は、販売店または専門業者にご相談ください。
②次の場所への据付けは避けてください。

- 可燃性ガスの漏れるおそれがあるところ
- 酢（酢酸）を多量に使用するところ
- 海浜地区等塩分の多いところ
- 温泉地などの硫化（イオウ系）ガスの発生するところ
- 酸性の溶液を頻繁に使用するところ
- 粉や蒸気が多量に発生するところ
- 油煙のたちこめるところ
- 湿気の多い場所
- 高周波加工機（高周波ウェルダー等）のあるところ
- 特殊なスプレーを頻繁に使用するところ

など、エアコンの周囲雰囲気が特殊な場所で使用しますと、多くの場合エアコンの故障のもとになります。
詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。
③室内ユニットは必ず水平に据付けてください。水たれなどの原因となります。

■保守点検契約のおすすめ

●エアコンを数シーズンご使用になりますと内部が汚れ、性能が低下することがあります。ご使用状態によっては臭いが発生したり、ゴミ、ホコリなどにより除湿水の排水が悪くなることがあります。通常のお手入れとは別に保守点検契約（有料）をおすすめします。

■電気工事について

①電気工事は、電気工事士の資格がある方が「電気設備に関する技術基準」「内線規程」および据付工事説明書に従って施工してください。
②電源はエアコン専用の回路を設けているか販売店にご確認ください。他の電気製品と回路を共用しますと、ブレーカーやヒューズが切れることがあります。
③万一の感電防止のため、アースを取付けてください。
詳しくはお買い上げの販売店にご確認ください。
④据付場所によっては、漏電ブレーカーの取付けが義務付けられています。詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。
⑤ブレーカー・ヒューズなどは正しい容量のものをご使用ください。

■騒音にもご配慮を

①据付けにあたっては、エアコンの重量に十分耐える場所で騒音や振動が増大しないような場所をお選びください。
②室外ユニットの吹出口からの温風や騒音が隣家の迷惑にならないような場所をお選びください。
③室外ユニットの吹出口の近くに物を置きますと、性能低下や騒音増大のもとになりますので、吹出口付近には障害物を置かないでください。
④エアコンをご使用中、異常音がする場合などは、お買い上げの販売店にご相談ください。
⑤室外ユニットの製品仕様表などに記載されている騒音値は、無響音室にて測定した場合の値です。従って現地での据付環境、および反響によって騒音値は大きく影響されますので注意が必要です。通常の住宅地など静粛性が要求されるような居住地域への隣接設置は避けてください。

9. 仕　様

●PFD-P560MT-E(-6)形

			PFD-P560MT-E(-6)
冷房能力		kW	56.0
暖房能力		kW	63.0
電源			三相200V　50/60Hz
送風機	風量	m^3/min	240
	機外静圧	Pa	250
運転音		dB	67.0
外形寸法（H×W×D）		mm	1950×1900×800
質量（本体のみ）		kg	560

●長年ご使用のエアコンの点検を！

エアコン補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後９年です。

ご使用の際、このようなことはありませんか？	●運転音が異常に大きくなる。 ●室内ユニットから水が漏れる。 ●電源が頻繁に落ちる。 ●その他の異常や故障がある。	ご使用中止	故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

後日のために記入しておくと便利です。	
お買上げ店名	電話
お買上げ(据付)日	年　月　日

〒100-8310 東京都千代田区丸の内2-7-3（東京ビル）
〒640-8686 和歌山市手平6-5-66冷熱システム製作所(073)436-2111

WT04843X02